

序

21世紀まであと数年となった今日、この地球に生きるわたしたちにとって、いかにして来るべき人口、食料、環境の問題に 대응していくかということが問われている。国内の農業については、ガット・ウルガイラウンドの合意による農産物輸入の自由化を踏まえての研究対応とともに、国際的な視野にたった持続可能な農業の展開とそれぞれの地域における農村生態系維持管理のありかたが問われているといえよう。創立以来、当研究所がめざしてきた生態系調和型農業の基本技術の確立とこれに基づく総合的農業環境管理システムの構築への期待が一層高まりつつある。

本誌は、平成5年度農業環境試験研究推進会議に提出された主要な研究成果の中から、各推進部会及び評価・情報部会における審議、検討の結果に基づき、本会議において選定した研究成果情報35課題について、一部表現を改めるなどして編集したものである。成果情報のとりまとめにあたり多大の労をとられた関係場所各位に謝意を表したい。

農業環境に関連する有効な技術情報として、関係各方面において本誌を参考に供していただければ幸いである。

平成6年9月

農業環境技術研究所長 玉木佳男